



1923 (大正12)年	3月28日	帯広大谷女学校設置認可
	4月 1日	帯広大谷女学校開設
1925 (大正14)年	4月 1日	帯広大谷高等女学校に昇格
1932 (昭和7)年	4月 1日	帯広大谷高等家政女学校併設
1948 (昭和23)年	4月 1日	学制改革・帯広大谷高等学校認可
1951 (昭和26)年	3月10日	学校法人帯広大谷学園組織変更認可
1956 (昭和31)年	4月10日	帯広大谷幼稚園設置認可
1960 (昭和35)年	1月20日	帯広大谷短期大学設置認可
1960 (昭和35)年	4月 1日	帯広大谷短期大学国語科開設
1962 (昭和37)年	4月 1日	帯広大谷短期大学生活科学科設置
1965 (昭和40)年	4月 1日	帯広大谷短期大学生活科学科栄養士課程設置
1966 (昭和41)年	4月 1日	帯広大谷短期大学社会福祉科設置
1977 (昭和52)年	7月26日	帯広大谷高等学校新築移転
1988 (昭和63)年	2月25日	音更大谷幼稚園設置認可
1988 (昭和63)年	3月18日	帯広大谷短期大学 河東郡音更町に移転
1988 (昭和63)年	4月 1日	音更大谷幼稚園開設
1989 (平成元)年	4月 1日	帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻設置
1993 (平成5)年	4月 1日	帯広大谷高等学校男女共学化／文理コース・普通コース設置
1996 (平成8)年	4月 1日	帯広大谷短期大学国文科を日本語日本文学科に名称変更
1999 (平成11)年	4月 1日	帯広大谷短期大学男女共学化
2005 (平成17)年	4月 1日	帯広大谷短期大学日本語日本文学科を総合文化学科に名称変更
2013 (平成25)年	4月 1日	帯広大谷短期大学社会福祉科社会福祉専攻を子ども福祉専攻に名称変更
2014 (平成26)年	4月 1日	帯広大谷短期大学地域教養学科設置
2018 (平成30)年	4月 1日	認定こども園帯広大谷短期大学附属音更大谷幼稚園の設置認可
2023 (令和5)年	4月 1日	帯広大谷短期大学看護学科及び地域共生学科設置



学校法人 帯広大谷学園

創立100周年記念教育基金 募集趣意書

支えられて100年、
つなげよう
わたしたちの願い



学校法人 帯広大谷学園



帯広大谷短期大学

〒080-0335 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3
TEL 0155-42-4444 FAX 0155-42-4499
<http://www.oojc.ac.jp/>



帯広大谷高等学校

〒080-2469 北海道帯広市西19条南4丁目35番1号
TEL 0155-33-5811～5813 FAX 0155-33-3703
<http://www.obihiro-otani.ed.jp>



認定こども園帯広大谷短期大学附属

音更大谷幼稚園

〒080-0335 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3
TEL 0155-42-5155 FAX 0155-42-5165
<https://ookg.jp>



学校法人 帯広大谷学園 教育基金に関するお問合せ先
TEL 0155-42-6048 学園本部総務部



OBIHIRO OTANI

学校法人 帯広大谷学園



ご挨拶 創立100周年に向けて、帯広大谷学園教育基金へのご協力をお願い

謹啓 皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学園の保育・教育・研究活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学園は2023(令和5)年創立100周年を迎えます。思えば、1923年に帯広大谷女学校を起点に新制の帯広大谷高等学校となり、次いで帯広大谷幼稚園(現音更大谷幼稚園)、帯広大谷短期大学の開学と総合学園としての発展を遂げてきました。

現在、短期大学では看護学科の開設と既存学科の改組、高等学校では校舎の改築改修、幼稚園では3歳未満児受け入れに向けての取り組みが始められています。いずれも地域の皆様の期待に応える教育機関として更なる充実・発展を期しての事業であります。「大いなるいのち」に目覚め、人間として生きる喜びを見いだすことを願いとする人間の普遍的課題と向き合い、建学の精神を原点に立ちかえりながら歩んでいく所存であります。

本学園が行うこれらの事業への恒常的な財政支援及び教育・研究活動並びに学生・生徒・園児への支援を設立し、個人及び法人等を対象に幅広く寄附金を募集いたします。皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、本学園にお力添えを賜りたく、ご支援をお願い申し上げます。

合掌

学校法人 帯広大谷学園 理事長 桂井智善



To the next

帯広大谷短期大学の事業計画

総事業費 6億5千万円



地域にいろづく、未来につなげる

●看護学科棟新築事業

2023年4月1日開設の看護学科に「ケアを楽しむまちづくり」を合言葉に地元ナース養成を支える充実の実習棟が完成します。新棟にはボランティア活動室を創設して地域住民のサポートを得ながら地元創成看護学を実践します。

●プロムナード整備構想

本校舎と看護学科棟を結ぶ空間に新たな価値を吹き込む憩いのスペースとして、プロムナードの再開発を行い、地域の方々も気軽に立寄れるコミュニティ空間を整備する構想です。

帯広大谷高等学校の事業計画

総事業費 24億円



個性が光る 君が光る

●校舎改築・改修事業

出会いと学びの環を基本コンセプトにデザインされた新校舎が2023年度完成します。体育館を中心に教室を環状に配置したコンパクトで機能的なレイアウト、ICT環境を充実させたラーニングコモンズを設けるなど次世代教育に対応した質の高い教育環境を実現します。また、2024年度中に既存校舎に耐震補強工事を行い、特別教室を改修整備します。2025年度に解体工事を実施する計画です。

●グラウンド再整備構想

解体後の管理棟跡地を活用した、前庭や駐輪場、部活動の練習場所を整備する構想です。

認定こども園帯広大谷短期大学附属音更大谷幼稚園事業構想

総事業費 1億円

●完全自園調理給食実施に向けた調理室整備構想

ぐんぐん成長する幼児期の子供たちに、より安心安全な給食の提供が可能となるように、調理室を改修し、将来的に完全自園調理給食を実現する構想です。十勝の豊かな自然と食を取り入れた食育にも力を入れ、園児が育て収穫した野菜や地元の素材を使用した、魅力ある給食の提供を目指します。

●子ども達の心と体を育てる、充実した園庭整備構想

緑に囲まれた自然豊かな園庭は、子ども達の心身の成長の場として、職員手作りのロープ遊具や切り株遊具などを増やしているところです。鉄棒や棒のぼりなど子どもの体幹を鍛える遊具や大型アスレチック遊具の設置、ツリーハウスの建築など、完成後も定期的にメンテナンスを行い、安全に楽しめる遊具と自然を融合した空間を整備する構想です。



「遊ぶ」×「楽しむ」×「学ぶ」
子どもたちが通いたくなる園へ



ご挨拶 創立100周年記念教育基金へをお願い

このたび創立100周年記念事業協賛会を発足するにあたり、会長に選出された山田敏明です。娘が大谷高校を卒業しましたご縁で学園理事をさせていただいています。

大谷学園に関わる教職員の皆さんは、常に切磋琢磨し前向きに、かつ英知を結集して教育事業に奮闘しております。その応援団として、私も関わらせていただいています。

本学園は、十勝唯一の総合連携教育機関としてたくさんの個性溢れる人材を送り出し、この十勝・帯広の産業を支えています。日本の数多くある社会問題の中で超少子高齢化は、大きなウェイトを占め現在も歯止めが効きません。このような中、教育の問題は最大限の重要課題であり注目されています。

この基金はこれまでの100年間に培われた「大谷魂」を持つ素晴らしい人づくりの養成を目的としています。この広大な十勝の中で、今後の未来に向けて益々繁栄していきますよう、皆さま方には俯瞰的な視点を持ち今回の募金趣旨にご理解をいただけるをお願いいたします。

創立100周年記念事業協賛会 会長 山田敏明



募集要項

募金名称 / 学校法人帯広大谷学園教育基金

募集目的 / 帯広大谷学園の各学校の教育の充実・発展のための資金調達のため

募集期間 / 2023(令和5)年2月1日～2024(令和6)年3月31日

寄付金の内容	対象	個人		法人	
	寄付金額 / 1口	1口	5,000円	1口	10,000円

申込及び払込方法

所定の「振込用紙」に必要事項をご記入の上、最寄りの郵便局でお振込ください。

※振込手数料はご負担願いますようお願い申し上げます。

振込口座		※ATM等からお振り込みいただく場合	
ゆうちょ銀行（音更大通）		ゆうちょ銀行（音更大通）	
口座記号番号	02770-6-47660	店名	二七九店（279）
口座名義	がく)北`ヒロオタニが`ケンキョウイクキン 学校法人帯広大谷学園教育基金	口座番号	当座 0047660

寄附者名の公表及び個人情報の取り扱いについて

本学園ホームページ（学園・幼稚園・高校・短大含む）及び学園広報誌にお名前を掲載させていただきます。お名前の掲載を希望されない方は、その旨を振込用紙欄の寄附者名掲載希望なしの欄に✓を入れてください。

寄付にご協力いただいた皆様の個人情報は、本教育基金に係る業務のために使用し、本学園の規定に基づき適正に管理いたします。

税制上の優遇措置について

● 個人の場合 所得税の控除について、税額控除制度または所得控除制度のいずれかを、確定申告の際にお選びいただくことができます。

税額控除制度 租税特別措置法の定める要件を満たした学校法人	所得控除制度 特定公益増進法人への寄付
(寄附金額－2,000円)×40%＝税額控除額	(寄附金額－2,000円)＝所得控除額
税額－税額控除額	(所得金額－所得控除額)×税率＝税額
*税額控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。	*控除対象となる寄附金額は、その年の総所得金額等の40%が上限となります。

法人の場合

損金算入限度額

特定公益増進法人への寄付

寄附金の一定限度額まで損金に算入できます。
(資本金×0.375%+当該年度所得×6.25%)×1/2

受配者指定寄附金

日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄附金の金額を損金に算入することができます。

寄付金額全額の損金算入が可能